

お住まいの地域でのご協力のほか、次の方法でもご寄付を受け付けています

定期的・継続的な寄付をしたい



クレジットカードで
インターネット上で登録手続きが可能です。スマホやPCから、下記検索方法または二次元コードから専用ページにアクセスしてください。



銀行口座からの引き落としで
口座振替申込書をご用意しておりますので、下記までご連絡いただき、必要事項をご記入のうえポストにご投函ください。

好きなタイミングで寄付をしたい



スマホアプリで(J-coin Pay)
スマホアプリをダウンロードしてご本人様の情報を入力後、募金アイコンから寄付できます。

Jコインペイ



お近くの郵便局・銀行で
(専用払込取扱票)
こちらの払込取扱票を郵便局・銀行(北洋銀行・北海道銀行)窓口で使用すると手数料がかからず寄付できます。

日本赤十字社北海道支部では、故人の尊いご意思にこたえるために遺言によるご寄付(遺贈)、相続財産のご寄付も承っております。

専用の払込取扱票や口座振替申込書のご請求、お問合せは
TEL.011-231-7126またはshinkou@hokkaido.jrc.or.jpまでご連絡ください。



詳しくはこちら

表彰制度のご案内

赤十字活動資金に多額のご協力をいただいた場合は、以下のとおり表彰制度を設けております。

日本赤十字社の表彰

ぎんしょく 銀色有功章

一時または累計金額が20万円以上50万円未満に達した個人・法人に贈呈いたします。



ぎんしょく 金色有功章

一時または累計金額が50万円以上に達した個人・法人に贈呈いたします。



社長感謝状

金色有功章を受章後、新たに50万円以上ご協力いただいた都度、個人・法人に贈呈いたします。



国の表彰

厚生労働大臣感謝状

一時または同一年度内に、個人100万円以上500万円未満、法人300万円以上1,000万円未満のご協力をいただいた場合、国へ授与申請いたします。



紺綬褒章

一時または分納の申し出により、個人500万円以上、法人1,000万円以上ご協力いただいた場合、北海道庁をととして国へ授与申請いたします。



発行元

日本赤十字社 北海道支部
Japanese Red Cross Society

札幌市中央区北1条西5丁目 TEL:011-231-7126

発行日 令和7年7月

公式facebook・Instagramで情報発信中!



日赤北海道



<https://www.jrc.or.jp/chapter/hokkaido/>

UD
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基つき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
北海道支部

もっと伝えたい。北海道の赤十字のこと。

赤十字ほっかいどう

2025年度版



やさしさが広がる 赤十字の想い

いのちと健康を守る赤十字の活動は、皆さまからのご寄付、ボランティアの方々など、多くの方によって支えられています。皆さまのお住まいの地域で、令和6年度に行われた主な赤十字の活動を報告いたします。



赤十字奉仕団の活動

～全道各地で奉仕活動を展開～

道内各地域で清掃活動や花壇整備、チャリティーバザー、義援金の街頭募金など多岐にわたり活動を行っているボランティア(奉仕団)の皆さんが、あなたの街で活躍中です。奉仕の心で、みなさんの地域を守る活動をしています。



災害に備える ～救護体制の強化、訓練、災害救援物資の備蓄、防災教育の普及～

令和6年10月、日本赤十字社第1ブロック支部（北海道・東北6県）合同災害救護訓練を北見市にて開催しました。

北海道、東北6県の赤十字職員等、総勢376名が参加し、能登半島地震などの昨今の救護活動の経験を踏まえ、避難所アセスメント（現地調査）や巡回診療の演習などを行いました。

赤十字救護班の役割は時代とともに変化しており、また使用する災害救護資機材なども変わるため、訓練による実践や確認を行いました。



令和6年度 災害救援物資の道内配置状況

下記市町村に新たに災害救援物資を配置しました。

赤十字災害救援車「博愛号」



共和町	当別町	剣淵町
由仁町	初山別村	幌加内町
安平町	北見市	岩見沢市

（全道総配置数250台/令和7年3月31日現在）

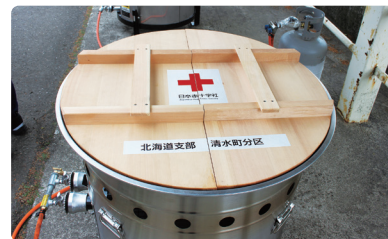
赤十字「災害用天幕」



今金町	白老町	新ひだか町
鹿追町	南富良野町	大樹町
札幌市		

（全道総配置数260張/令和7年3月31日現在）

赤十字「災害用炊き出し釜」



森町	沼田町	喜茂別町
札幌市		

（全道総配置数205台/令和7年3月31日現在）

知識と技術を持つボランティア（奉仕団）が各地で皆さまのいのちと健康を守る講習を実施しました。

赤十字の安全法講習

～全道各地で講習会を開催～

救急法 259回

応急手当やAEDの使い方、止血・固定・搬送、災害時の対応などの基本を習得できます。

雪上安全法 24回

雪の楽しさを知るとともに、スキー場での事故防止や救助・応急手当の知識と技術を習得できます。

水上安全法 55回

泳ぎの基本や水難事故の防止、救助・応急手当など水に関する知識と技術を習得できます。



幼児安全法 83回

乳幼児の事故予防や病気への対応など、子どもを守るための知識と技術を習得できます。

健康生活支援講習 23回

高齢者を健やかに過ごすための健康知識や高齢者の支援・自立の工夫を習得できます。

万が一に備えて、
あなたも受講しませんか。



各講習の詳細・
受講条件について

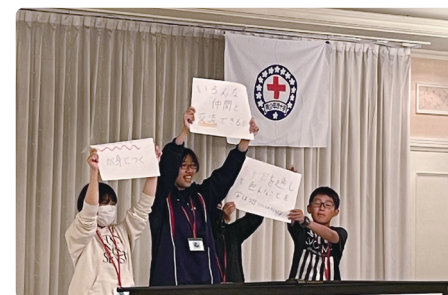
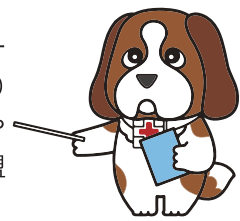


講習の開催・
お申込について
（北海道支部HP）

青少年赤十字の活動 ～トレーニング・センター、スタディー・センターを開催～

青少年赤十字は、学校教育の中に取り入れてもらい、全国各地の小学校や中学校、高等学校などで結成されている組織です。（青少年赤十字への加盟は任意です。）子どもたちが赤十字の精神に基づいて、さまざまな活動を行っています。

道内3か所で開催されたトレーニング・センター（集団生活を通してリーダーシップを学ぶプログラム）と札幌市で開催されたスタディー・センター（思いやりや優しさを持ち、自主性を育むプログラム）に加盟校の子どもたちが参加し、楽しく学びました。



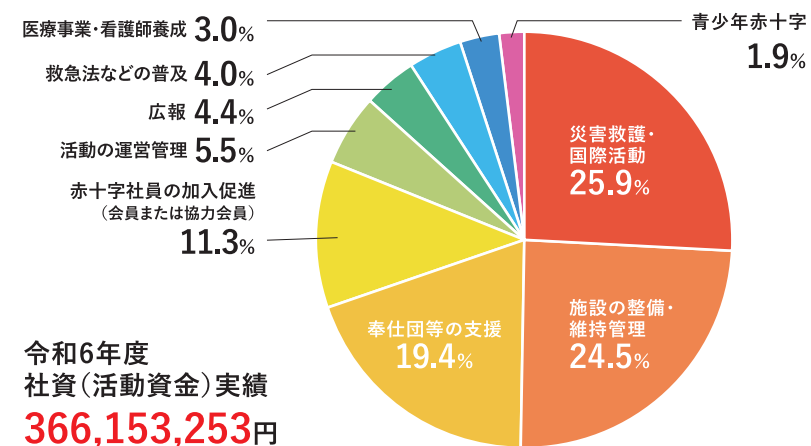
国際活動 ～ウクライナ人道危機救援～

ウクライナでは入院していた患者が退院後に住まいに戻ってから受けられる地域コミュニティでのリハビリサービス制度が十分に整っておらず、今回の人道危機によってリハビリのニーズが高まる一方で理学療法士などの専門的人材が不足しています。

訪問リハビリテーション支援事業のために令和6年11月～12月にかけて栗山赤十字病院 理学療法士 鈴木聡子氏をイヴァノ＝フランクウス州へ派遣し、現地理学療法士のサポートや指導等を行いました。



令和6年度社資（活動資金）使途報告



令和6年度
社資（活動資金）実績
366,153,253円



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が必ずしも100%とはなりません。

